

5/11

## 子どもたちにマスクを

子ども用マスクを市に寄贈

感染症防止のため需給がひっ迫するマスクについて、子どもたちの安全確保のために高山病院(市内針摺中央)と株式会社つくしメディカル(市内上古賀)の各事業所から5千枚、計1万枚の子ども用マスクの寄贈がありました。

つくしメディカルの萩尾社長は「長年住んでいる筑紫野市に少しでも貢献できたら」と話していました。マスクは市内幼稚園・保育所などで活用します。



子ども用マスクを持つ(左から)高山理事長、藤田市長、萩尾社長

5/1

地元の<sup>じもと</sup>ため、<sup>しょうどくよう</sup>消毒用アルコールの供給を

大賀酒造が消毒用アルコールを市に寄贈

大賀酒造株式会社(市内二日市中央)から、手指消毒用アルコール「T70」60本の寄贈がありました。

同社の看板銘柄「玉出泉(たまでいずみ)」の頭文字、アルコール度数70%から名付けられた「T70」は4月に製造を開始。当面は市内の医療・介護機関や保育所などに限定して注文を受け付けます。

寄贈された「T70」は来庁者の消毒用に市の施設に設置するなど、有効利用しています。



「T70」を持つ藤田市長(左)と大賀社長(右)

5/29

## 危機をみんなで乗り越えたい

筑紫ガスが市に寄付

市内などにガスを供給する筑紫ガス株式会社(市内紫)から「新型コロナウイルス感染症対策などに役立ててほしい」と市に寄付の申し出があり、この日、寄付金の目録を受け取りました。

筑紫ガスの前田社長は「市民の皆さんが安心して暮らせるように、この状況をみんなで乗り越えたい」と話していました。寄付金は感染症対策のために活用します。



筑紫ガスの前田社長(中央)、前田専務(右)

5/3

感染症防止へ  
「何かできることを」

立明寺区婦人会が手作りのマスク配布

立明寺区では婦人会の皆さんがさらしや布などを区民に呼びかけて集め、手作りのマスク約700枚を作成しました。子ども会を通じて小中学生に、民生委員・福祉委員を通じて独居の高齢者に配布しました。

この日は公民館で希望する区民に配布した、会長の吉村 祐子さんや婦人会の皆さん。マスクを受け取った人は「大変ありがたい」と喜んでいました。



マスクを受け取りに来た人に対応する婦人会の皆さん